

## 2 地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている

### (1) 伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている

グローバル化の進展で、世界は急速に同じ顔になりつつあります。逆にローカルであること、地域固有であることが世界で輝くチャンスにつながります。

また、グローバル化の進展により、世界は急速に小さくなりつつあります。インターネットの発達などによって、本市のような小さなまちでも、世界の人々と直接つながることが可能になってきました。

私たちは、大正14年（1925年）の北但大震災で壊滅的な被害に遭った城崎温泉の復興に当たり、再び木造三階建ての町並みを復活させてきました。また、出石の伝統的建造物群保存地区の取組みを進め、近年では、近畿に現存する最古の芝居小屋「出石永楽館」を復活させてきました。

地磁気逆転※<sup>1</sup>という地球科学上の大発見がなされた玄武洞を拠点とする山陰海岸ジオパーク、竹野の焼き杉板の町並みやジオカヌーの取組み、日高における神鍋高原や植村直己の精神を引き継ぐ冒険教育の取組み、但東の美しい田園景観や安国寺・ドウダンツツジなどが、まちの大きな魅力となり、国内外から多くの来訪者を迎えています。

世界で輝く資源とチャンスは、私たちの足元にあり、世界に通用する質の高い「ローカル」を磨いていきます。



▲出石伝統的建造物群

※1 地磁気逆転…地球の地磁気の向き（南北）が周期的に逆転していること。

## (2) 地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている

インバウンドの増加の中で、名所旧跡のみならず、その地の人々にとって「普通」の景観や暮らしぶりが人々を惹きつけるようになっていきます。私たちは、自然、歴史、伝統、文化など受け継いできたものの中に、新たな資源を見出すことができるはずです。

個々の資源は、つながることにより新たな価値を生み出すことができます。

来訪者の市内での滞在日数と時間を増やすためにも、地域固有の資源をさらに磨き、つながりを強化することは極めて有効な方策です。

官民共同で設立した一般社団法人豊岡観光イノベーションを中心に、市内外の事業者や組織とも連携し、市内にあるさまざまな資源を発掘し、組み合わせ、まちの魅力を世界へと発信していきます。



▲豊岡観光イノベーションによる JICA(国際協力機構)  
研修プログラムの受入れ

### 【関連する取組み例】

「豊岡観光イノベーション（豊岡版DMO）」は、平成 28 年（2016 年）6 月 1 日に設立され、観光まちづくりの観点から、地域の関係者の力を結集し、顧客視点に立ち、地域の魅力を再編集して、地域の稼ぐ力を引き出し、地域経済の活性化に寄与することを目的に、マーケティング事業やインバウンド向け宿泊予約事業、着地型ツアーの企画販売事業などに取り組んでいます。